

## 京都の魅力を発掘し、訪日外国人向けの体験ツアーを作成・実施

私は昨年履修生として1年間、そして本年はSAとして秋学期の半年間、プロジェクト活動に従事しました。COVID-19の影響により、予定していた内容から大幅な変更を強いられたところからスタートした本プロジェクトでしたが、短い期間にもかかわらずとてもいいツアーになったこと、SAとして勝手ながら誇らしく思っています。緻密な準備の積み重ねと、本番で参加者と一緒に作りあげる楽しさ、そんなツアーの面白さを何うことが出来たのは喜びでした。プロジェクトは終わりますが、授業を通じて得た学び、経験、成長はここで完結せず、次のステップへと繋がっていくように思います。本当にお疲れ様でした、ありがとうございました。

## 留学生と創る！ 「伝統と革新・京着物文化読本」制作プロジェクト

今年度は昨年度とは異なり、春学期はオンラインでの開講でした。プロジェクトを進行していくうえで、チームビルディングは肝となってきます。当初はオンライン上でのチームビルディングがうまくいくのかと不安を感じていました。しかし、読本の出来を見ていただければ、私の懸念は杞憂であったことがお分かりいただけると思います。チームの中でメンバー各々が力を発揮したからこそ、昨年度以上の読本を完成しました。SAとしてこのプロジェクトに今年度も携われたことを大変嬉しく思います。プロジェクトメンバーをはじめ、先生方、プロジェクト科目関係者の皆様、ありがとうございました。

## ラジオの魅力 —学生パーソナリティの現場から高齢者へ

今年度は、このコロナ禍の中、お互いに連絡も取れず本当に活動が出来るのか不安なスタートでした。しかし、活動が制限されている中でも高齢者のニーズを汲み取ったラジオ番組を制作し、高齢者施設などに声を届けることができたのは一人一人が出来ることを模索し協力し合うことができたからだと思います。

また、昨年別のプロジェクトの履修生として参加していました。今回はSAとして客観的にプロジェクトをサポートし、時に難しく感じることもありましたが、新たな視点から見るプロジェクト活動はとても興味深く、沢山の学びを得ることができました。

コロナ禍を乗り越えて作り上げたプロジェクトが皆さんの将来に活かせたらと思います。

先生方、履修生の皆さん、1年間本当にお疲れ様でした！

## 地域の共感をよぶ映像制作 ～まちづくり観光の視点から～

一年間、SAとしてプロジェクトに参加させていただきました。今年はコロナウィルスという災難の中、映像の制作過程において非常に不便だった場面が多々ありました。二年前に同じ授業を履修していた身として何か出来ることは無いかと思い始めたSAでしたが、私自身も未熟でサポートしきれなかった点多々あり履修生の皆様にはたくさんご迷惑をおかけしたと思います。しかしそれでも三条会商店街の魅力を発信する映像作品を制作し上映会まで開催できたのには、先生方をはじめ、商店街の皆様や事務局の皆様、そして履修生が熱いや思いを込めて向き合ったからだと感じています。

最後になりましたが、本プロジェクトを支えてくださったすべての皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

## 地域課題解決に資する コミュニティカフェのデザイン

社会の孤立化を防ぎ、「場の力」で地域課題の解決を目指すコミュニティカフェの在り方は、今年のコロナ禍で一変しました。大学の授業形態自体も変化する中、どのような地域課題が生まれ、どのように解決していくのかという問いは、先生方や履修生だけでなく、SA・TAにも大きな悩みの種となりました。

全員が手探り状態でスタートした今年のプロジェクトですが、地域課題を自分事として捉え、その解決策を必死に模索した履修生の底力は、素晴らしい成果を生み出してくれました。本プロジェクトは今年度で終わりですが、この経験を活かして社会でも活躍して欲しいと切に願います。

最後になりましたが、3年間お世話になった先生方、事務局、履修してくれた学生の皆さんに心からの感謝を申し上げます。

## 「子育て×働く」のリアルを探求する キャリア教育プロジェクト

本プロジェクトのSAを担当して、率直に私自身もたくさん学ばせていただきました。昨年は履修生としてこのプロジェクトに参加しましたが、同じテーマでも、履修生が違えば活動の内容も異なり私自身楽しんで参加させていただきました。しかし、今回はコロナの影響で春学期全ての授業がオンラインになってしまい、昨年と同じようにプロジェクトを進めていくことが出来ず、また私自身も経験のないことだったため履修生との関わり方に苦戦しました。しかし、履修生たちなりにオンラインでできることを考え、工夫する姿勢を近くで見ていると感心しましたし、何より履修生たちが納得のいく成果物を完成させることができて良かったと思っています。

## 京都・伏見で酒ツーリズムのしくみをつくる

まずは、コロナ禍という厳しい状況の中でもモチベーションを失わず、最後までやり切ったことに対してお疲れさまでしたと言いたいです。春学期はリモートでしか活動を行うことが出来ず、一年のスケジュールを立てることが出来ず、ツアー設計に関しては実質的に秋学期のみで行うしかないという厳しい状況の中でも、その時その時にできることを考え、動き続ける姿勢を貫き通したからこそ、ツアーを実施することが出来たのだと思います。目標に向かって努力を続ける姿勢には同じ学生という立場ながら、刺激をもらっていました。自分がそうであったように、プロジェクト科目をきっかけにもっといろいろな事に挑戦をするようになってほしいです。

## 老若コラボによる「現代の課題」ブックレット編集制作

地域コミュニティの分断・減少が叫ばれる現代において、「老若」コラボで一つの冊子を編み出す一この困難かつ画期的な、今後必要とされる要素が詰まったプロジェクトを終えて、皆さんは開講時とは見違えるほど人間として成長できたのではないかと思います。一連の感染症騒動に起因する「当たり前」でない今だからこそ見えた「当たり前」世界への違和感を憶えた春学期、人生の先輩とその違和感を対話し、伝えたい一心で何度も推敲した秋学期。決して表面上の取繕いではない、泥臭く、謙虚で素直な姿勢から発せられる躍動感あることばたちは、必ずや読者の魂をも強く揺さぶるはずです。一年間傍で見守ることができ光栄です。ありがとう。お疲れ様。